

令和7（2025）年度

第2回 あしぎんマロニエ県庁コンサート

とき：令和7（2025）年7月2日（水）12:10～12:50

ところ：栃木県庁舎 本館1階県民ロビー

出演者：新井 恵美

演奏曲目

1. シンコパイテッド・クロック/L.アンダーソン

アンダーソンは、小学校の鑑賞教材としてもおなじみで、この曲の他に「踊る子猫」、「トランペット吹きの休日」、「そりすべり」、「タイプライター」などが有名です。この曲は1946年に作曲されました。

2. 結婚行進曲Op.3-2/T.クーラ

クーラは1883年にヴァーサというフィンランド西部の海沿いの都市に生まれた作曲家・指揮者です。結婚行進曲といえば、ワーグナーやメンデルスゾーンが有名ですが、フィンランドの結婚式では、この曲がよく演奏されているそうです。この曲は、幼なじみであるエンミとユルヨ・プトッキネンに捧ぐ、と記されています。

3. 口笛吹きと犬/A.プライアー

CMでもよく使われるこの曲は、1905年に作曲されました。「日曜日の朝、公園に少年が現れて口笛を吹くと、遠くから小犬が駆け寄ってくる。少年と小犬はじゃれ合い、スキップしながら、少年と小犬が遠ざかって行く。」という場面を表しているそうです。

4. 双頭の鷲の旗の下に/J.F.ワーグナー

ワーグナーと聞くと、有名なリヒャルト・ワーグナーを思い浮かべますが、あちらの一族とは関係はないそうです。この曲は1902年、ワーグナーがオーストリア＝ハンガリー帝国の軍楽隊長であった時に作曲されたといわれています。曲名の「双頭の鷲」というのは、このオーストリア＝ハンガリー帝国の象徴だそうです。

5. 愛の讃歌/M.モノー

フランスのシャンソン歌手であるエディット・ピアフが詩を書き、シャンソンを代表する楽曲の一つとして、世界中で親しまれています。

6. 組曲「道化師」Op.26より第2曲 ギャロップ/D.カバレフスキー

運動会でおなじみの曲です。「ギャロップ」とは、馬の駆け足の意味で、音楽ではテンポの速い軽快な2拍子の舞曲のことを指します。

7. さんぽ/久石譲

「となりのトトロ」でおなじみの曲です。この詩は、子ども時代に福島県の信夫山で遊んだ思い出をイメージしたと言われています。小学校の音楽科教科書にも掲載されています。

8. ありがとうの花/坂田おさむ

2009年にNHK「おかあさんといっしょ」で発表され、有名になった曲です。現在では、小学校の音楽科教科書にも掲載されています。

9. 県民の歌 作詞：岡きよし 作曲：川島博

とちの葉の 風さわやかに…昭和37年に制定された「県民の歌」です。

主催：栃木県 生活文化スポーツ部 文化振興課

☎ 028-623-2153

令和7年度ネーミングライツパートナー：株式会社 足利銀行

印刷協力：株式会社 松井ピ・テ・オ



新井 恵美 (あらい えみ)

栃木県佐野市出身。

宇都宮大学教育学部小学校教員養成課程音楽専修卒業。宇都宮大学大学院教育学研究科教科教育専攻音楽教育専修修了。白鷗大学大学院法学研究科法律学専攻知的財産法特修コース修了。

2015年より鍵盤ハーモニカの両手演奏を始める。宇都宮大学准教授、白鷗大学及び国立音楽大学講師。SUZUKIケンハモ認定講師。ケンハモ音楽呼吸法トレーナー。

活動実績

幼稚園、小学校、特別支援学校等でコンサートやワークショップをしたり、自治体主催のコンサートに出演したりしている。2024年には、第27回市貝町ウィンターコンサートのゲスト出演、豊洲シビックセンターホールで開催された「第27回JFCアンデパンダン第1夜」にて鍵盤ハーモニカ独奏作品の新作初演等を行った。また、2025年2月には「第3回「とちぎアーティストバンク」元気発信ステージ」に出演している。

出演者からのメッセージ

鍵盤ハーモニカの両手演奏は少しずつ広がっていますが、多くの方が初めて接するかもしれません。鍵盤ハーモニカの魅力を知っていただけたら嬉しく思います。

「あしぎんマロニエ県庁コンサート」 今後の予定

8月6日(水) Cheka & free swing

#多様な楽器#ポピュラー#ジャズ

9月3日(水) 結音

#多様な楽器#クラシック#ポピュラー

10月1日(水) 栃木サクソフォンアンサンブル

#サクソフォン#クラシック

11月5日(水) じへ〜ず

#多様な楽器#ジャズ#打楽器アンサンブル

12月3日(水) 加藤 紗耶香 福田 有理絵

岸 美紗希 添野 日向

#多様な楽器#クラシック#ポピュラー#ジャズ

- ・座席数は約120席です。
- ・曲目・曲順は変更になる場合があります。
- ・発熱や風邪の症状がある場合は来場をお控えください。

